

質問 これまでひきこもり支援を円滑に提供できる体制を整備を、引き続き進めてきたが、その期間が長期化する中で、本人が40代となり、親も高齢となり生活が困窮する、8050問題が課題となっている。国は40歳以上の方の実態調査を昨年、初めて実施し、分析結果を公表する方針である。都も今年4月、保健、医療、福祉施策の連携のため、福祉保健局に所管を移すこととなった。①総合的に検討していく。ひきこもり対策の基本的な考え方は。②これまでの取り組みは。③国や都の対応を受けた今後の対策は。



公明党昭島市議員 吉野 智之 議員

質問 市民の健康対策について、①がんで亡くなる人が多い中、各種がん検診の受診率向上に向けた取り組みは。②産後ケア事業の中で、産後鬱を防ぐための対策を早期に実施すべき。

質問 市民の健康対策について、①がんで亡くなる人が多い中、各種がん検診の受診率向上に向けた取り組みは。②産後ケア事業の中で、産後鬱を防ぐための対策を早期に実施すべき。



公明党昭島市議員 稲垣 米子 議員

質問 市民の健康対策について、①がんで亡くなる人が多い中、各種がん検診の受診率向上に向けた取り組みは。②産後ケア事業の中で、産後鬱を防ぐための対策を早期に実施すべき。

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。



みらいネットワーク 篠原 有加 議員

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。

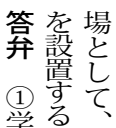
質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。



一般質問 (要旨)

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。



答弁 ①学校図書館の利用は、運営体制、人員確保、

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。

質問 市民と行政の協働に提供できる仕組みや、解決見守られながらのびのび育つ環境が必要と考える。学校図書館を利用して、多世代交流の場としての放課後カフェの取り組みを行って、は。②小中学校の昇降口等に、友達と話したり、休んだりできる憩いの場として、ベンチを設置する考えは。

4面下段より
観点からの屋外公衆喫煙所のごみの減量に努めること、また、3か年計画の小中学校の体育館空調機器設置事業については、一日でも早い完了を望む。
以上、数多くの事業や施策が評価できる内容となっており、本予算に賛成する。

国民健康保険特別会計

反対

日本共産党昭島市議員 荒井 啓行 議員

政府は、都道府県が示す標準保険料率の水準に国保税を統一していくよう市区町村に要求している。これは医療給付費の負担を市区町村に押し付け、国の負担を回避する狙いと指摘する。昭島市は、赤字解消・削減計画である「国保財政健全化計画」を国に提出したに期待する。

賛成

自由民主党昭島市議員 森田 久夫 議員

医療技術の高度化や少子高齢化の急速な進展により、一人当たりの医療費は上昇を続け、高齢者の介護等のための負担も増加の一途をたどるなど、国民健康保険の運営は厳しい状況である。この状況の中、特定健康診査などを基本とする保健事業について、より効果的な事業展開が予定されており、こうした取り組みが市民の健康の維持・増進へとつながり、将来に向けて医療費の削減が図られること

近年のゲリラ豪雨による昭島市の対策を伺う



無党派 小林 こうじ 議員

質問 近年のゲリラ豪雨への対策について、①住宅街では雨水管が未整備の地域もあるが、計画的に整備していくのか。②区画整理エリアでは事業終了後に雨水管の敷設を進めるようだが、中神土地区画整理事業地区の進捗状況を考えると、現段階で対策が必要では。③指定基準による建設費は、容積率の限度に達していることから、困難性がある。

答弁 ①都市計画マスタープランを市民と共有し、魅力あるまちづくりを図っていき。②指定基準による建設費は、容積率の限度に達していることから、困難性がある。

